

令和元年度 学校評価結果報告書

兵庫県立芦屋特別支援学校

1 学校自己評価結果について

本年度の25の評価項目（実践目標）について、評価Aの項目が18、評価Bの項目が7あり、本年度については全ての評価項目について概ね達成することができた。評価Bになっている項目について共通することは、ほぼ全職員が実際に行う業務に関することであり、その内3項目は仮想デスクトップを使用するもの、もう1項目は研究テーマに関するものである。多忙な職員がその複雑さ、重要さに特別感を持ってしまい、まだ不慣れな点からも自信や余裕を持って行うことができていない現状があると推察される。そのため、これら4項目に関しては比較的熟考した上でシビアな評価につながっていると思われる。これら評価Bの項目については、もう少し改善の余地があると思われるので、次年度に向けて検討課題としたい。なお、PDCAサイクルをより一層機能させ、より良い学校づくりに生かしていくことを目指して現在の学校評価シートに変更して3年目となったが、さらにシンプルでわかりやすい学校評価とするため、次年度は評価項目（実践目標）を各部・委員会それぞれ1つずつとし、各部・委員会の重点

目標の一番優先順位の高いものを評価項目として評価項目を16にする。

2 各種アンケート結果について

(1) 保護者アンケート

どの項目に対しても評価平均が高く、評価もAまたはBとなっており、保護者の学校に対する評価も概ね良かったと思われる。評価平均が低い項目については、質問内容が少しわかりにくかった可能性もある。特別支援学校のセンター的機能は、外部の地域の児童生徒や保護者が対象であり、活動状況がわかりにくかったのではないかとと思われる。また、「挨拶ができるようになりましたか？」という質問については、「挨拶」の定義がはっきりとせず、「おはようございます」などはっきりとした言語での挨拶のみと認識してしまい、評価が低くなってしまった可能性がある。笑顔、お辞儀、挙手など、具体的に例を挙げれば評価は変わっていたのかもしれない。さらに、記述式の保護者の学校への要望・感想等については、安全・安心につながるものがコメントとして多数寄せられていた。学校に対して「安全」を強く意識していることの表れであり、信頼感が大きく左右されるポイントである。今後、さらに安全・安心につながることを大切にする学校として注力していきたい。

(2) 砂子訪問学級保護者アンケート

どの項目についても評価平均が高くなっており、評価もAとなっている。昨年より評価が上がった項目が多くあり、成果があったことを感じる。常に1対1での対応ができており、保護者としてもある程度の安心感と満足感があるため、様々な項目について比較的好意的に捉えていただき、好循環になっているのではないかとと思われる。

(3) 地域アンケート

全9項目について、本校からの情報発信は十分にできているが、受け取り側の意識により、評価がAからDまで開きがあると思われる。評価A・Bの項目については、地域の方々が普通に生活されている中で目にすることができる情報だけでも理解できるものである。しかし、評価C・Dの項目については、掲示板や配布物、HPとより能動的に情報を得ようとしなければならぬ項目である。これで十分とは言えないが、現状においては、これ以上は難しいかもしれない。

4 学校関係者評価について

学校関係者評価では、学校自己評価の各領域ごとに評価を実施したが、領域Ⅰ（学校運営）から領域Ⅳ（課題教育）まで、学校自己評価及び総括について適切であるという評価を受けた。なお、その他、本校に対する意見・要望としていただいたご意見を下記に掲載する。

- ・10年経つと、施設・設備が次第に傷み、壊れたり更新の必要が出てくるが、玄関は10年前と同じようにきれいにワックスがけされていて素敵だと思う。また、情報機器など旧式のものは思い切って更新しないと結局新しいものを使わないままになる可能性があるので、担当は大変だと思うがよろしくお願ひしたい。保健などもシステムを入れて情報のデータベース化も必要だと思う。
- ・感染症対策がとても大変だと思うが、早く終息することを願っている。今後もできることはお手伝ひしたい。何かあったらいつでも声かけしてほしい。
- ・私たちの協議会が支援するスポーツやイベント活動時に当校の卒業生の子供たちがお互いをかばいあったり、同じチームの自分より弱い立場の者に気を配ったりしている姿が見られ、非常にうれしく思っている。ただ、当校児童に芦屋市民が少ないのが残念で、今後も私たち協議員の間でも各地域の人たちへの当校の活動のPRをしていく必要性を感じた。
- ・突然お願ひする生徒の受入れなど柔軟な対応に感謝している。現在進行中の生徒のケース会議をはじめ、今後は他生徒についてもより深く話し合いの機会を設定していただけるとありがたい。
- ・学校の取組をいろいろと説明していただき、有意義な時間であったと思う。ただ、限られた時間内で全て説明いただくことは難しいとは思いますが、いつも優秀な生徒さんの活動の話が中心になっているので、その他の児童生徒の日常はどうなっているのかな…と少し気になった。そういうお話も聞いてみたいです。